

INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：熊谷 健 副会長：井上 修 幹事：小椋文成 公共イメージ向上委員長：太田明良



2024-2025 国際ロータリーのテーマ
ロータリーのマジック

2024-2025 RI会長
ステファニー A. アーチック
 <米国ペンシルバニア州>



第1715回例会 令和6年10月1日 (火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 加藤篤ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

・米山奨学生 アミン, エムディ アル 様

■ 会長談話 井上修副会長



例会で斉唱する・国歌 君が代【君が代は 千代に八千代に さざれ石の巖 (いはほ) となりて 苔のむすまで】ですが、10 世紀に編纂された勅撰和歌集『古今和歌集』が由来とか。世界の国歌の中で、作詞者が最も古いといわれています。当初は「祝福を受ける人の寿命」を歌ったものが、転じて「天皇の治世」を奉祝する歌となったとあります。幾多の変遷を経て平成 11 年に「国旗及び国歌に関する法律」で正式に日本の国歌として法制化されたとあります。根底に感謝の気持ちがありますが、他国の国歌は革命を基調にした国歌であり【血まみれ、敵兵、武器、戦争、奴隷、姑息、罨】等という単語が飛び交います。幼い頃からこんな単語を歌わせられたらどんな子供に育つのでしょうか。幼い頃からこんな単語を言わされる子等の心情を心配します。改めて日本の国歌のありがたさを思います。

■ 慶 祝

10 月誕生祝い

・兼子展世会員 ・小川秋實会員



■ 米山奨学金の支給

・米山奨学生アミンさんへ井上副会長より、ロータリー米山記念奨学会「10 月分奨学金」が手渡されました。



■ ニコニコボックス

- ◆井上修 熊谷会長の代理を務めさせていただきます。ヤジらないで下さいよ。
- ◆小椋文成 アミンさん、ようこそお越し下さいました。
本日、熊谷会長お休みということで、井上副会長よりしくお願いします。
- ◆伊藤かおり 本日アミンさん、ようこそお越し下さいました。宜しくお願いします。
また、井上副会長 本日宜しくお願いします。
- ◆矢島宏 脊柱管狭窄症の手術・入院で感じた事。今まで生かされてきた事に感謝、今まで生きてこれた事に喜びでいっぱいです。今後も楽しく前向きに生きたい！！
- ◆池上幸平 9月23日（日）以前からの計画でありました能登半島の能登町の役場の駐車場へ6回目の炊き出し支援に行ってきました。大雨の災害とドンピシャリで行きに7時間30分もかかりましたが、何とか終わり帰って来れました。午前中で雨が上がり、泥片付けから始まりました。能登の皆様には心より御見舞い申し上げます。

■ 幹事報告

小椋文成幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・9月4日（水）米山奨学生アミンさんの飯田RCへの卓話訪問の報告 三澤俊明米山カウンセラー



去る9月4日（水）に米山奨学生であるアミンと同カウンセラーの私三澤とで、飯田ロータリークラブに訪問し、卓話を行って参りました。

飯田ロータリークラブの例会の会場は皆さんご承知のシルクホテルですが、実は飯田には同クラブの他に飯田東ロータリークラブと飯田南ロータリークラブがありまして、その何れもがシルクホテルを例会会場としている状況にあり、やや驚きました。

始めに私からアミンの紹介を行い、その後アミンの卓話に入りました。アミンからは母国であるバングラデシュの紹介に始まり、自分の研究のプレゼン、そして最後には先だつて母国で起きてしまった暴動の経緯にも若干触れました。

アミンもこの1年半で日本語も上達し、卓話もだいぶ上手くなりました。

ただいかんせん、研究の内容が高度すぎて、なかなか一般の人には伝わらないといった難点があります。今後は研究の結果が将来社会でどのような役に立つかを少しでも伝えることが出来ればベストかと思います。

・9月28日（土）第35回 RYLA in 岡谷の報告 小椋文成幹事



9月28日（土）に RYLA in 岡谷が開催されました。今回は特別出席者と対象者のみ現地に参加し、それ以外の参加者は YouTube の配信を見る形での参加でした。

開講式が開催され、まず白鳥ガバナーと岡谷ロータリークラブの会長から挨拶があり、気賀沢 RYLA 委員長より挨拶がありました。

RYLA とはロータリーユースリーダーシップアワード・ロータリー青少年指導者養成プログラムということでした。通常1日のセミナーから数日間の合宿までさまざまな形式が取られるそうです。世界ではイギリスでスタートし、当時女王が出席し、表彰を行ったそうです。日本では1976年に大阪地区で初めて行われました。

次に白鳥ガバナーからロータリーについて説明がありました。RYLA・インターアクトクラブ・交換留学生など青少年育成についてもプログラムがあるので、活用してもらいたいとお話されていました。

次にオリエンテーションが行われ1日の流れについて説明がありました。

続いて比田井和孝氏による「与えるものは与えられる」という演題で基調講演が行われました。17年間 FM 長野で番組をやっていたそうですが、高校生は1人も聞いたことがないところからスタートしました。プレッシャーのかけすぎはよくない。だが人はプレッシャーで成長する。プレッシャーのかからない人生を選んでほしくない。覚悟を決めてプレッシャーを楽しんでもらいたい。どんな人生になるかが大切。自分の考えを15秒で説明するのは難しい。普通の専門学校は資格を取って就職をさせるのが目的。でも上

田情報ビジネス専門学校は違う。将来幸せな人生を送ることができるようになるのが目的。それを大事にしている。夢はすごい力を持っている。でも持ち方を間違えると残念なことになる。夢は内側から出てくるもので持つものや与えられるものではない。選択するものでもない。小平奈緒さんは金メダルを取った後に「金メダルは取った後が大切だと思います。」と言っていたが、とてもいい言葉だと思う。お金があれば幸せではない。メジャーリーガーは引退後8割が自己破産しているそうです。喜多川泰氏「これまで将来の夢という作文を書いてきたと思う。何になるかより大事なこと。どんな人間になりたいかが大事。」とっている。自分の人生のリーダーを人に任せている人がいるが、自分の人生のリーダーは自分自身。心の状態がどうか、どんな心構えでどんな思いで何のためにやっているか、あり方が大切。

人は「もらうこと」ばかりを考えているそうです。こういう人を「くれない族」といいます。もらうことばかりを考えている人は「〇〇してくれない」という気持ちになり、全てを人のせいにする傾向にある。結果いいことが起こらなくなる。自分の機嫌は自分で取らないといけない。うまくいかない時に「ついてる」と口に出すことが大切。心はいきなり変えられないから、言葉を変えてみる。つまり「与える人は与えられる。」ことになる。

これから成功しようとする人は「自分が・・・」という、既に成功した人は「あの時あの人が・・・してくれた。」という。つまり成功した人はたくさんの人に応援された人のこと。というような内容でした。

次に観光荘の社長、宮澤健氏による「岡谷のうなぎ」という演題で特別講演が行われました。昔は諏訪湖や天竜川でうなぎがたくさんとれた。今は養殖のうなぎがほとんど。長野県は背開き（関東）・炭火（関西）の文化が混ざっている。一步前進・元気が一番という心構えで食文化を守っているという話でした。

以上で、一般参加者の内容は終了です。

・9月29日（日）～30日（月）分水RCとの交流事業打合せ会の報告 伊藤かおりSAA



9月29日（日）～30日（月）に上山田の地にて分水ロータリークラブとの打ち合わせに熊谷会長、小椋幹事、渋谷親睦活動・友好委員長、唐澤知子会員、私の5人で行ってまいりました。分水ロータリークラブからは会長、幹事、友好委員長、後藤さん、大倉副会長さんの5名が参加されました。

打ち合わせの内容として、日程を4月6日～7日とすること。友好桜を見て頂き、高遠にて高遠そばのお昼、高遠公園でのお花見、例会から懇親会への行程、移動手段などを詰めてまいりました。

分水ロータリークラブ会長さんはじめ、幹事さんたちも伊那の桜、グルメ等到大変関心をもっていただき、打ち合わせをしている段階から交流会当日が楽しみだと感じられる内容の打ち合わせができたと思います。

会員の皆さんも今からスケジュール調整をしていただき、多くのメンバーにて分水ロータリークラブの皆さんをおもてなしできるように、ご協力をお願いいたします。

・「ロータリーの友」10月号紹介 平澤理ロータリー情報委員



今月のロータリーの友は、RI会長のメッセージと、特集として「名士の足跡と、ロータリークラブ。」今月は米山月間ですので「よねやまにもっと親しもう！」ということで、海外の学友会の活動が載っています。

まず、横組み5頁にはRI会長のメッセージ「チームの力が必要です」ということで、10月24日の世界ポリオデーに際し、私はポリオ根絶という目標に向け、世界中で丸となっているチーム・ロータリーの応援団長です。7月野球のメジャーリーグ、パイレーツの本拠地で開催されたイベント「Strike Out Polio」に参加しました。デルモントセーレム RC が主催し 130 万ドルもの寄付金を集めました。

また、ロータリーファミリーと一緒に、自転車ツアーも応援しました。ポリオ根絶への募金と認知度向上の活動として、メキシコから国際ロータリー世界本部まで走破。12日間走り続けたこのチームは、10万ドルを超える寄付金を集めました。

これらは、ロータリーが根絶に向けてチームとして取り組んでいる様々な活動のほんの一部に過ぎません。根絶に向け、引き続きチームの仲間を集めることが重要です。

世界中のロータリー会員の皆さん、ぜひ新しい仲間、新会員を引き続き求めて、共にポリオ根絶に向けて取り組みましょう。というメッセージです。

8頁からは「名士の足跡と、ロータリークラブ。」の特集です。

日本のロータリーの創設者、米山梅吉は静岡県駿東郡長泉町で1868年に生まれ、成長しました。1969年に、この米山の成長を支えた当地に、米山梅吉記念館は建てられました。

長泉 RC は、米山梅吉記念館への支援協力を大きな目的として創立し、現在も創立時の精神に基づいて動いています。

そして、クラブ創立 15 周年では、町内の小中学校の賛同を得て、米山の命日である 4 月 28 日を「米山梅吉デー」に制定。町内の児童に奉仕を通じて、米山の「奉仕の心」を学んでもらう目的で、現在も継続中です。

10 頁は渋沢栄一の生まれ故郷、埼玉県深谷市の深谷 RC は、2011 年創立 50 周年記念事業として、駅前からからくり時計を寄贈。さらに 60 周年時からは、市教育委員会と共に「栄一コンクール」を実施しています。市内の小学校 4 年生と中学 2 年生を対象とした絵画コンクールで、渋沢の伝記を読んで、思い浮かべた情景を描き、優秀作を同クラブが表彰するというユニークなもの。このコンクールは 10 年間の継続予定で、今年 3 年目を迎えました。

12 頁。福澤諭吉は、大分県中津市に生まれ、後に慶應義塾大学を創設しました。中津 RC では、当地の歴史的背景に着目し「蘭学の里・中津」を内外に PR し続けています。

縦組 20 頁【ロータリーあるある相談室】の相談に「私は入会 3 年目の新会員です。入会前、ロータリーは地域に根差した素晴らしい活動をしていると聞いていました。ところが、いざ入ってみると、マンネリの例会や懇親会ばかり。それなのに、ベテラン会員は例会出席や懇親会への参加を鬼のように言ってきます。帰属意識を高めたいというなら、一緒に奉仕活動をして体を動かせばいいのに。」という相談に対して、回答は。

「あなたに問題があるのではなく、ロータリーに問題があるのです。ロータリーは会員増強には力を入れながら、会員維持のための努力を怠っています。例会が楽しいかというアンケートでは、64%が『どちらでもない』と回答しています。半数以上が楽しんでいない例会をそのままほったらかしにしているのです。ロータリーはそういう文化を変える必要があります。ロータリーが DEI を取り入れるべきだというのは、まさにこのことです。」と答えています。

以上紹介でした。

■ **出席報告** 会員数46名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者24名 事前メイク2名
出席率65.00% 前回出席率 修正なし

■ **理事会報告** 小椋文成幹事

1. 今年度地区補助金事業「未来へとつなげる森林づくり」について
2. 次年度役員・理事候補者の指名委員委嘱について
3. 地区大会信任状の選挙人について
4. 次年度の地区補助金事業プロジェクトチームについて
5. 10月の行事予定並びにメイクアップ扱いについて
6. その他

■ **指名委員委嘱** 井上修副会長

細則により、元会長、現会長・幹事・会長エレクトが指名委員に委嘱されました。

■ **点 鐘** 13:30

次回例会

10月8日(火) 点鐘/12:30 場所/海老屋料理店
・クラブフォーラム「米山記念奨学委員会」